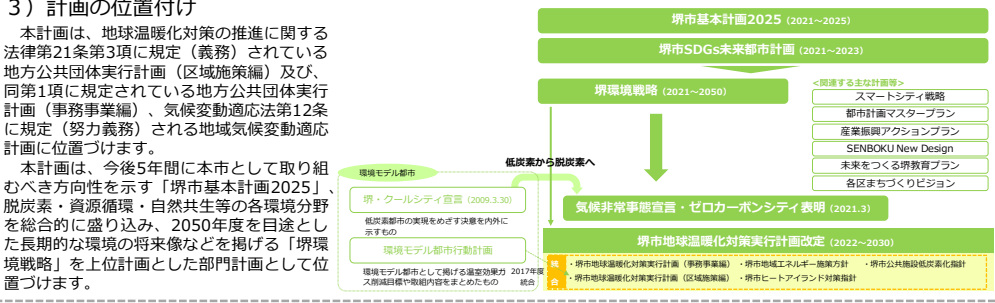


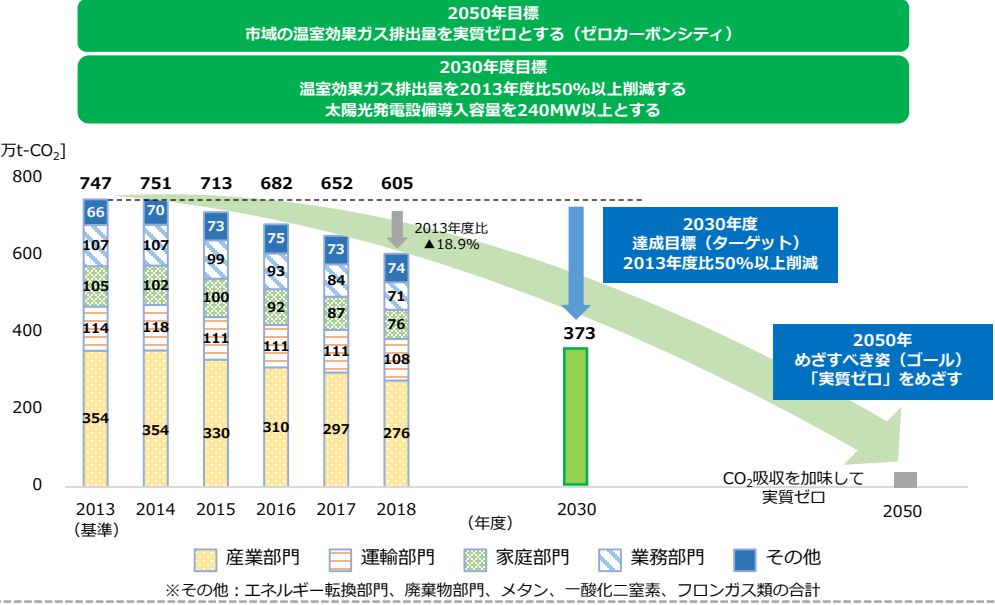
堺市地球温暖化対策実行計画の改定の方

気候変動の現状と動向（計画改定の背景）

- 1）気候変動問題（気候変動から気候危機へ）
- ・地球温暖化による気候変動は、人間の生活や自然の生態系に様々影響を与えています。また、**平成30（2018）年の台風等では堺市は激甚な気象災害**に見舞われました。
 - ・「IPCC1.5℃特別報告書」では、気候変動の影響を抑えるには、**2050年前後にはCO₂排出量の実質ゼロが必要**と報告されました。
 - ・IPCC第6次評価報告書第1作業部会報告書（自然科学的根拠）では、「人間の影響が大气、海洋及び陸域を温暖化させてきたことには疑う余地がない」とされ、**地球温暖化が人類の活動によって引き起こされている**ことを明示されました。
- 2）気候変動対策に関する国内外の動向
- ・国は令和2（2020）年10月、**2050年カーボンニュートラルを宣言**し、令和3（2021）年5月、2030年度の**温室効果ガスを46%削減（2013年度比）**することを宣言しました。各省庁及び業界で脱炭素化の取組が加速化しています。
 - ・世界中で脱炭素ビジネスの主導権争いが激化し、国内のESG投資額は2年間で4倍以上増加しています。
 - ・新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、経済活動が低下しています。国では、成長力を強化していく過程において、グリーンリカバリーの視点に立ち、取組を推進しています。
- 3）計画の位置付け



計画の目標

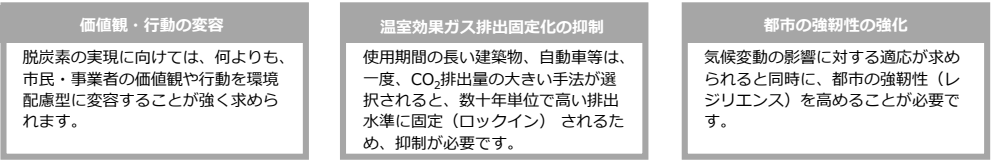


計画の基本理念・基本方針

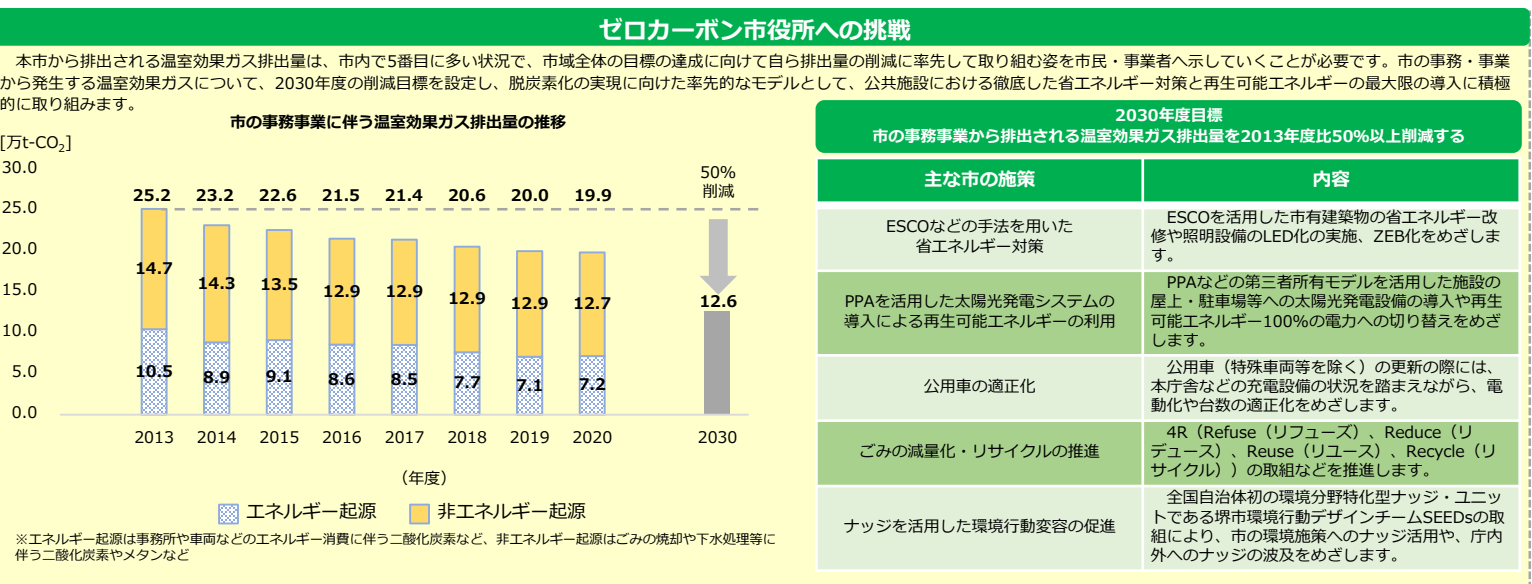
堺市が2050年までの脱炭素社会の実現をめざしていくための基本理念を次の通り示します。基本理念に基づき、方向性を示し、2030年度の目標達成をめざします。

将来世代に渡って安心して暮らせる、持続可能な環境イノベーション都市

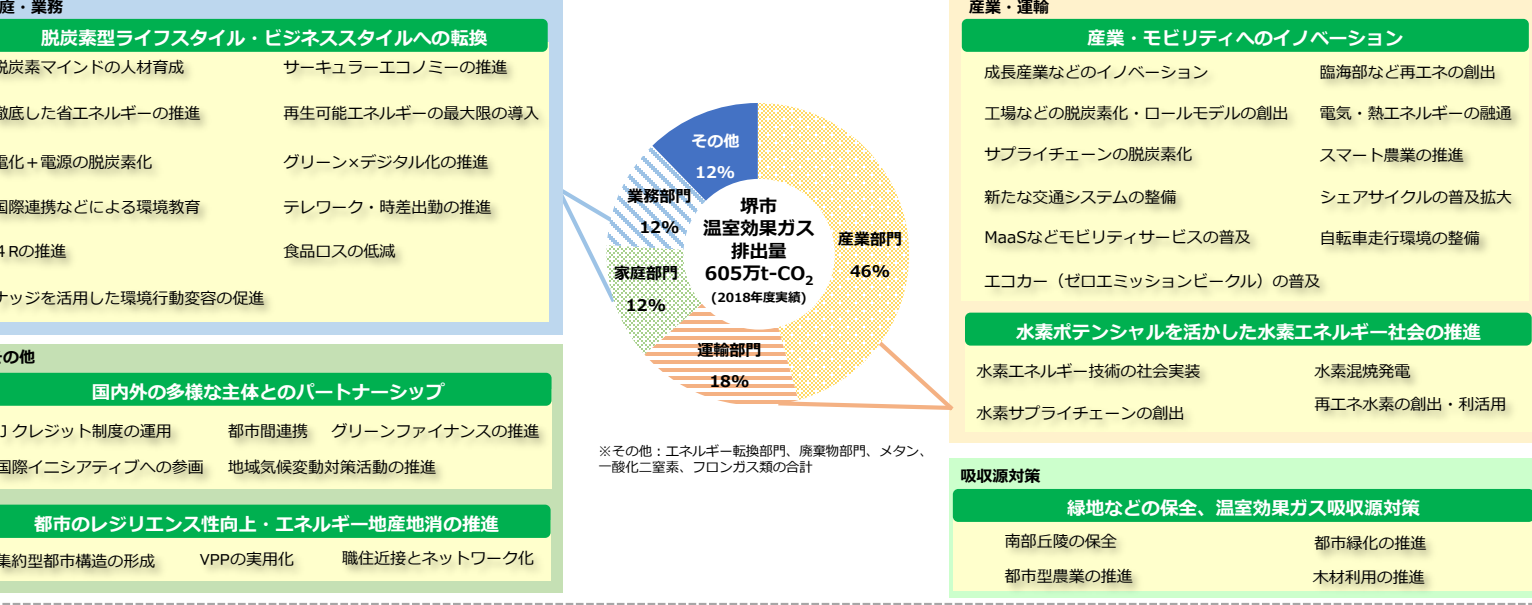
基本理念に基づき、次の3つの視点を踏まえ、2030年度の目標達成に向けて、現在実施している取組やその延長線上にある様々な脱炭素化に向けた取組を各主体が実施し、2050年を見据えた脱炭素化の取組を積極的に採用します。



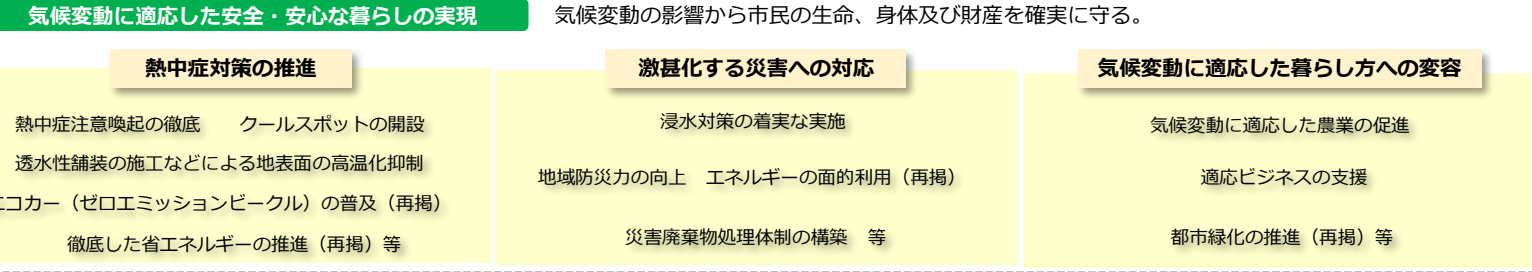
気候変動の緩和～温室効果ガスの排出の抑制～（市役所）



気候変動の緩和～温室効果ガスの排出の抑制～（市民・事業者等）



気候変動への適応



計画の推進

